

OECDエコノミックアウトルック94の公表について

平成25年11月19日

OECD代表部

本日、OECDは本年以降の経済見通しを示すOECDエコノミックアウトルック94を公表しました。概要については下記のとおりです。

実質GDP成長率

	2013年	2014年	2015年
日本	1.8 (1.6)	1.5 (1.4)	1.0
米国	1.7 (1.9)	2.9 (2.8)	3.4
ユーロ圏	▲0.4 (▲0.6)	1.0 (1.1)	1.6
中国	7.7 (7.8)	8.2 (8.4)	7.5

注：()内は前回5月のエコノミックアウトルック公表時の見通し。

(コメント)

- ・ 世界経済の緩やかな回復が当面続くとの基本シナリオは変わっていない。
- ・ 新興国自身の供給制約や米国の金融緩和縮小の影響などを見込み、新興国経済の見通しを若干引き下げ。
- ・ 我が国経済は、強力な金融刺激策や財政政策を背景に、輸出、消費、設備投資の伸びに支えられた順調な回復を続けている。消費税の引上げにより2014、15年の若干の減速につながるものの、世界貿易の回復に支えられた国内需要や輸出の伸びによって、景気拡大を続けるものと見込まれている。
- ・ 我が国景気の先行きリスクとして、物価上昇が賃金上昇を伴わないものになってしまうこと、財政健全化に向けた取組みの遅れによる長期金利上昇の可能性、世界経済の先行きを挙げている。

(以上)